

ダイバーシティで明日を拓く

明日を想う  
健祥会グループ

# 健祥会だより 2019

KENSHOKAI DAYORI vol.44

May your life  
be brilliant  
forever!

SINCE  
1978  
KENSHOKAI



# 「心と心」を原点に、時代の困難に 「デザイン思考」で立ち向かう!

健祥会グループ 理事長 中村 太一

## 社会への責任を 粛々と果たしながら

自然の猛威の前に社会の脆弱さが露呈し、一方では様々な企業や組織が不祥事に揺れ、危機管理やコンプライアンスのあり方が問われた2018年でした。グループ内の社会福祉法人健祥会と緑風会は特定社会福祉法人として、ガバナンスと財務規律の厳格化、組織の透明性、地域貢献をより高いレベルで実践し、社会への大きな責任を粛々と果たしてまいっております。

今年10月には、いよいよ消費税が10%となります。増税分は全世代型社会保障に充当すると言われてはいるものの、道筋は見え、課題が山積したままです。

女性の活躍を支える専門職として、保育士の給与アップが図られ、また本年10月から保育料の無償化が実現しますが、グループ4園では、「人としての基礎がつくられる3・4・5歳期の教育が子どもたちの未来を決する」という揺るぎない信念のもと、引き

続き、質の高い就学前教育、保護者と地域のニーズに沿った保育に努めてまいります。

## ニーズがある限り 挑戦あるのみ

人口減少が加速し、今、福祉業界での人財確保は困難を極めていきます。また過疎の山間部ではすでに高齢化がピークを超え、利用者も減少傾向にあるという厳しい現状です。しかし、困難を前に手をこまぬいているのではなく、そこにニーズがある限り挑戦あるのみであり、昨年は国府町にグループホーム「元気」を、脇町では医療法人より譲渡を受けて介護老人保健施設「センターヴィレッジ」を開設しました。また人財養成にもさらに力を入れるべく、「専門学校 健祥会学園」が文部科学省の『職業実践専門課程』の認可を得て、新たな歩みを始めています。

長年のノウハウで  
グローバルな共生職場を

不変の行動指針を  
掲げて

人口減少による人手不足を補うために、外国人労働者の受け入れ拡大が図られようとしています。健祥会グループでは、創始者中村博彦の強い意思で実現したEPAによる介護看護人財交流において、初年度からアジアの人財を積極的に受け入れ、現在、インドネシア、フィリピン、ベトナム

私たちは、不変の行動指針として、「サービスの質の追求」「職場での共創」「地域社会への貢献」を掲げています。「サービスの質の追求」では、研修制度を充実させ、それぞれの分野で専門性を高めるとともに、施設間で刺激しあい、競い合いながら、質の高いサービスづくりに努めています。

の人財が196名在籍、このうち47名は介護福祉士国家資格取得者であり、頼もしい戦力となっています。また、ベトナムからの技能実習生もほとんどなく就労を開始する予定です。新たな在留資格により介護の分野に向こう3年間で6万人の就労が見込まれています。この先、外国人財の受け入れがさらに進んでも、長年蓄積した共生のノウハウで、日本人も外国人も働きやすいグローバル職場をさらに進化させていけるものと確信します。

特に注力しているのが「職場での共創」です。私たちの仕事は人の質がサービスの質に直結しますから、魅力ある職場、選ばれる職場でなければならず、そのために職場環境と働き方の改革をすすめています。子育て応援手当での創設や男性の育児休暇取得の推奨など、ワークライフバランスの実現に向けた改革を加速させるとともに、ICTによる効率化や、ロボットによる介護職の負担軽減など健康経営にも取り組んでいます。女性が働きやすい職場である「えるぼし」三つ星認定や育児を応援する「はぐくみ支援企業表彰」、「女性活躍パワー

アップ大賞優秀賞」とくしま子育てサポート賞「健康経営優良法人2019」の受賞など、嬉しい評価も改革を後押ししています。忘れてならないのが、施設は地域のお支えで成り立っているということ。これを職員が常に胸に刻み、単に施設サービスだけでなく、平時においては、文化の発信や専門分野での情報発信、啓蒙活動に努め、災害時にも地域の安心の核となるよう地域との連携を強固にしていっております。

新しい発想のもと  
さらなる進化を

人財確保や生産性向上、AI対応など取り組むべき課題はたくさんあります。また、社会保障分野といえどもしっかりと戦略を以って経営に臨まねばなりません。働く人からも利用者様からも選ばれ、地域で喜ばれる事業体であるために、問題解決ではなく、問題発見に重きをおく「デザイン思考」を大切に、新しい発想で、新しい機能を生み出し、さらなる進化を果たしてまいります。

「ありがとう」を  
忘れない

二〇十九年訓

優しい心を  
利用者様に

敬う気持ちを

上司・部下・同僚に

生かされている  
喜びを地域に

明日を想う  
健祥会グループ



- 2 「心と心」を原点に  
時代の困難に「デザイン思考」で立ち向かう!  
健祥会グループ 理事長 中村 太一
- 5 医療・介護の魅力と可能性を広く社会へ発信!
- 6 集え人財! 採用活動レポート
- 8 働きがいのある職場・魅力ある職場へ嬉しい評価続々
- 9 KIRARI WOMAN ネットワーク 2018 活動レポート
- 10 「健祥会のサービスはいいね!」といつもいつまでも喜んでいただくために  
～ サービスの質の追求は私たちの大切な行動指針 ～  
「食」の機能と創意工夫を競い合う全施設参加の料理コンテスト開催  
去年より今年、レベルアップを実感!  
2017年度 年間取り組み発表会決勝大会
- 11 支え合いつながり合う  
あたたかな地域でありますように  
2018年 地域活動報告
- 16 スポーツが笑顔と元気を連れてくる! 地域に! みんなに!
- 18 健祥会グループ フォトコンテスト 2018



Topics



介護老人保健施設  
「センターヴィレッジ」  
脇町にオープン!  
2018 10/1(月)

グループ内の医療法人青嵐会が、美馬市脇町の医療法人一樹会より介護老人保健施設サンライズの譲渡を受け、「介護老人保健施設センターヴィレッジ」として開所しました。

中山間部における人口減少は著しく、働き手の不足だけでなく、将来的には利用者の減少も見込まれ、経営的には厳しさを増すばかりです。しかし、在宅復帰への道筋としての介護老人保健施設の存在は地域にとって不可欠であり、お引き受けすることを決めました。グループの中核である社会福祉法人健祥会が古くより美馬市においてお世話になってきたことへのご恩返し的气氛もちも込められています。

センターヴィレッジでは、サンライズ時代の職員を全員継続雇用するとともに、グループの人財を投入してスムーズな引き継ぎと運営を行なっています。施設名には、この地の安心の中心となりますようにとの願いが込められています。むくの木クリニックをはじめ、ウエストエステジの諸施設と連携し、健祥会のノウハウを注ぎ込みながら、安心のサービスを安定的にご提供してまいります。

### 基調講演「福祉が担う地方経済」

中四国の私立大学の事務局長・就職・教務・学生生活指導・経理各部課長らが集い、地域における私学の役割、課題、展望などについて、議論し学ぶ場で、健祥会グループ理事長中村太一が講演の機会をいただきました。

理事長は、特定社会福祉法人としての責任の重さを語るとともに、ICTによる業務の効率化や介護ロボット導入による介護職の負担軽減など、福祉業界が変わりつつあること、また、人の心に関わる、医療・福祉職は、A-1に取って代わられる可能性のもっとも低い職業であること、さらに、今後、福祉業界こそが地域経済の担い手となっ

てゆくであろうことなどを熱弁。大学関係者の皆さんには、医療・福祉をぜひとも「成長産業」という視点から語ってほしいということ、大学と地域の医療福祉の現場が様々にコラボレーションすることで、より新しい医療福祉像を見出し、いけるのではないかと、さらに、当グループも大学と同じ公共財として、地域社会の活性化に向けてともに歩んでいきたいと抱負を語りました。



# 医療・介護の魅力と可能性を広く社会へ発信！

人口減少による労働力不足が加速し、企業は、特に地方企業は人材難にあえいでいます。外国人に助けを借りるにも、国と国での奪い合いがあり、さらに国内では大都市に流れがちです。業界間の奪い合いもあります。そうした中、健祥会グループでは、働く人から選ばれる事業体であるために、様々な改革に着手し、ダイバーシティと働きがいのある職場づくりを注いでいます。そして、福祉業界もどんどん進化していることを広く社会に発信することにも努めています。2018年は経営トップが様々な機会をいただいで、健祥会グループの可能性をアピールしました。

### 健祥会グループの女性活躍を全国区発信!!



公益財団法人日本生産性本部ならびに、ダイバーシティ推進センター「ワーキングウーマン・パワーアップ会議」が主催する「女性活躍パワーアップ大賞」授賞式でのパネルディスカッション「エンパワーメント・フォーラム2018」に健祥会グループ本部長中村晃子が出席。グループの女性活躍への取り組みを全国区発信しました。

### 講義「テクノロジーと人のぬくもり～医療・福祉が徳島の明日を担う」

\*文部科学省の「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」として採択された「とくしま元氣印イノベーション環境人財育成プログラムの一環



「テクノロジーと人のぬくもり」医療・福祉が徳島の明日を担う」と題して、高齢化の現状と未来予測、変わりゆく医療・福祉分野の動向や将来性、健祥会グループの新しい取り組みと可能性、徳島で働く魅力などを紹介。これから社会に出る学生の皆さんに熱い想いを伝えました。

### 講演「女性が生きる、組織が輝く 健祥会グループのダイバーシティ『女性活躍パワーアップ大賞』優秀賞を受賞して」



女性目線で情報交換を行い、知識の向上と相互啓発を図り、事業経営の連携や働き方・休み方改革の推進をめざす女性部会、「あい」レディース部会で、健祥会グループの女性活躍とダイバーシティ経営の現状についてお話しさせていただきました。

2018年4月の有効求人倍率は1.59倍、5月には1.60倍となり、バブル経済期の水準を超えて1974年以来的の高水準となりました。雇用情勢は「売り手市場」の様相を強めています。売り手市場になると、福祉の現場は苦戦を強いられるのが常。そんな中、医療・介護・保育への志を持って、健祥会グループを選んでくれた人財35名を迎え、2018年度健祥会グループ辞令交付式が行われました。

## 「共創と競争」「進化と深化」を!

### 健祥会グループ 2018年度 辞令交付式

2018 4/2(月)

「少子化超高齢化が進む中、介護にも保育にも社会の注目が集まっています。あらたなチャレンジが求められており、組織も時代に即して変わっていかねばなりません。私たちは、創業以来、常に時代に挑戦し、新しいサービスをつくってきた歴史に習い、先駆的に新しい社会保障のあり方、考え方を構築していきたいと思えます。私たちが掲げる3つの行動指針、「どこにも負けないサービス」「どこにも負けない職環境」「どこにも負けない地域貢献」は不変の目標であり、使命です。「共創と競争」「進化と深化」で自らの力をアップしながら、この目標に取り組んでください。今の志とモチベーションを持ち続け、グループを支える一人ひとりへと成長していきってください。ともに頑張りましょう!」

#### 健祥会グループ 理事長 中村 太一 訓辞



# 集え人財! 採用活動レポート

## “いい日いい日”介護の日に 新たな一歩を刻んで

### 健祥会グループ 2019年度 職員採用内定式

2018 11/11(日)



#### ■ インタビュ

全施設がエントリーする料理コンテストに採用内定者2人が参加。普段は目にするこのない品質向上へのグループをあげた努力の一端を間近に見ていただきました。(P10)

感想……………

「すごく工夫されていて、見た目も美しく、味も良くて感心しました。食事一つとっても、皆さんが強い思いをもっていらっしゃる事がわかりました」

「フット食を初めて食べましたが、想像とはまったく違って、美味しくいただきました。利用者さんのためにこんな努力をされているなんて素晴らしいです!」

グループの未来をともに担う新しい仲間29名を迎え、2019年度採用者の内定式が執り行われました。

健祥会グループ業務執行理事中村晃子は、「高齢化の進展と女性の就労率の高まりにより、介護も保育も重要性を増すばかりです。そして、今や、福祉・医療は地方経済のけん引役。皆さんはその自覚と誇りを持ってください」として、3つの要望を伝えました。

- ① 最低1紙、新聞を読むことを習慣とし、問題意識を持ち、視野を広げること。
- ② 人にしかできない仕事に携わる者として、人間力に磨きをかけること。
- ③ 行動範囲を広げ、人とたくさん出会い、今しかできない経験を積むこと。

「この3つを心がけ、春には成長した皆さんを迎え、ともに仕事ができることを楽しみにしています」と期待を語りました。

# ようこそ健祥会へ! 夢へのスタートラインへ!

## インドネシア、フィリピン、ベトナムから 介護福祉士候補者を迎えて



2018年度は、EPA(経済連携協定)による介護福祉士候補者、総勢45名を健祥会グループに迎えました。インドネシア11期生20名、フィリピン10期生13名、そしてベトナム5期生12名です。日本文化体験、健康診断なども盛り込まれた3日間の本部研修や高齢者施設や保育園などの施設見学を経て、辞令交付式の

はじめの受け入れから11年、この間、介護職のグローバル化はすすみ、早くから創始者中村博彦が唱えていたように、「介護」が在留資格に加わりました。技能実習制度もスタート。本年3月には、ベトナムからの実習生4名が健祥会グループ施設での就労を開始予定です。

人口減少による労働力不足を補うために、政府は入管法を改正し、この先新たな在留資格「特定技能」により外国人財の受け入れがさらに進みます。

健祥会グループでは、先駆者として長年蓄積した教育と共生のノウハウで、日本人にとっても外国人にとっても、またEPA人財であれば、技能実習生であれば、誰にとっても働きやすい職場であるよう、ダイバーシティをさらに進化させてまいります。



## 健祥会グループEPA介護福祉士現況 ~2019年1月現在~

### 受入れ状況



### 国家試験合格率

(2008~2018年 累計)

	受験者数	合格者数	合格率
インドネシア	93	75	80.6%
フィリピン	34	18	52.9%
ベトナム	11	11	100.0%
合計	138	104	75.4%

全国EPA累積合格率 57.2%(718/1,256人)

### 在籍状況

	介護福祉士	候補者	合計
インドネシア	30人	71人	101人
フィリピン	11人	44人	55人
ベトナム	6人	34人	40人
合計	47人	149人	196人

## 家族みんなが安心して、笑顔で暮らせますように~EPA人財配偶者支援



家庭内で過ごすことが多く、子どもの養育においても家族以外との接触がほとんどないEPA人財の配偶者のため、グループ内のごくしま健祥会保育園、こまつしま健祥会認定こども園において、園児や保護者との交流会&育児相談会を実施しています。

2015年度に初めて実施し、子ども連れで、また家族揃って、たくさん参加がありました。とても好評だったことから、2016年度より概ね月1回のペースで行なっています。

遊んだり、おしゃべりしたり、交流の時間の後には、日本語教師による配偶者への日本語指導も実施。日常生活に支障がないレベル(N3程度)を目標に、勉強用の教材を提供して自宅での学習も支援しています。

子どもたちには言葉の壁など存在せず、いつもとても楽しそう。配偶者たちも子育てや暮らしの情報を交換しながら、どんどん「日本で暮らすこと」に馴染んでいってくれているようです。家族みんなが安心して暮らしていけるよう、引き続きしっかりサポートしてまいります。

## 女性の活躍で、組織にパワーを 「女性活躍パワーアップ大賞 優秀賞」受賞!

2018 4/11(水)



少子高齢・人口減少社会を支えるために、女性の活躍に期待が集まり、「女性活躍推進法」の施行以来、様々な企業で女性活躍を後押しする取り組みが推し進められています。

全職員のうち68%が女性、管理職に占める女性の割合も49%と高い数字を示し、女性の活躍が顕著な健祥会グループ。ワークライフバランスという概念が一般的ではなかった時代から、職員に長く無理なく働き続けてもらうために、仕事の両立を応援する気風と制度が育まれてきました。

公益財団法人日本生産性本部ならびに、ダイバーシティ推進センター「ワーキングウーマン・パワーアップ会議」が主催し、女性活躍を推進する企業・組織の活動を後押しするために設け

られた「女性活躍パワーアップ大賞」。第3回目となる2018年、健祥会グループは四国の企業として初めて優秀賞を受賞しました。

様々な観点からの審査を経て、損害保険ジャパン日本興亜株式会社様が大賞、健祥会グループは、NTTコムエンジニアリング様、株式会社ファミリーマート様ら4社とともに優秀賞をいただきました。名だたる大企業と並んでの大変嬉しい受賞。ライフステージに合わせた多様な働き方やキャリアづくりへの支援の充実、さらに、女性職員が心を豊かにし、育ち合い高め合うための学びの場「KIRARIWOMAN ネットワーク」の活動など、独自の取り組みが高く評価されたものです。



## 働きがいのある職場・魅力ある職場へ 嬉しい評価続々

### 子育てに優しい職場として 「とくしま子育てサポート賞」を受賞

2018 5/3(木)



子育てイベント「はぐくみ徳島 おぎゃっと21」での表彰式(アスティとくしま)

子育て中の従業員が働きやすい職場環境づくりに積極的に取り組む企業・団体などを徳島県が表彰する「とくしま子育て大賞」で、「子育てサポート賞」を受賞しました。

- ・ライフステージに合わせた多様な柔軟な働き方が用意されている
- ・産前産後休暇・女性の育児休業の取得率は、正規は100%、非正規もほぼ100%である
- ・育児休業後もとの職場・職務に復帰でき、時短措置の利用や正規・非正規の選択が可能のため、職場復帰率は98%を誇っている
- ・法人をあげて家庭と仕事の両立に向けた取り組みをすすめており、男性職員の育児休業の取得実績も増えている
- ・子育て応援手当をはじめ、職員の子育て支援を積極的に行なっている

以上が評価されている受賞です。

女性も男性も、すべての職員が子どもを生み育てることに喜びを感じながら、家庭と仕事の両立をサポートし、仕事にも意欲を持って取り組んでいけるよう、子育て支援の取り組みをさらに前へと推進してまいります。

## KIRARIエルダーレポート

3000人の職員を擁する健祥会グループは、多様性に満ちた人材の宝庫です。社会をあげてアクティブシニアの活躍に期待が集まる中、60歳以上の職員が3000人の職員の20%を超えています。KIRARI WOMAN ネットワークは、この世代にスポットをあて、魅力を探る「KIRARIエルダーレポート」を企画。各ステージから選出された14名のKIRARIエルダー職員を取材。趣味や特技を紹介し、生きがいややりがいを語っていただき、冊子にして全施設全職員に発信しました。思わぬ特技に驚いたり、感心したり、刺激になったり、世代を超えて共感の輪が広がりました。KIRARI WOMAN ネットワークのメンバーが写真も文章も担当。表紙の企画も考えるという、日常業務ではできないクリエイティブな体験ができました。



## KIRARI WOMAN ネットワーク 2018 活動レポート

KIRARI WOMAN ネットワークは、  
仕事のキャリアばかりでなく、人としての成長も大切に、  
育ち合い高め合うことをめざす  
健祥会グループ女性職員のネットワーク。  
元気いっぱい活動を紹介します。

### 施設ゆかりの 名画に触れるアートツアー 2018 11/17(土)



大塚国際美術館への「KIRARI ART TOUR」を企画しました。「地域における文化の発信基地であれ」との創始者中村博彦の熱い想いのもと、健祥会グループの各施設には様々な絵画が飾られています。誰もが一度は目にしたことのあるような世界の名画の複製画も数多くあり、利用者様や職員の目を楽しませてくれています。ツアーには職員だけでなく、希望を募ってご家族にも参加いただき、施設名にもなっているゴッホの「ひまわり」をはじめ、健祥会グループ施設にゆかりの絵画・世界の名画を鑑賞。芸術の秋にふさわしい、ステキな時間を過ごしました。



### 育休職員を KIDS na LINEで応援!

育児休業中の職員の子育ての不安を解消し、一人じゃないよと応援するために、「LINE@」を利用して「KIDS na LINE」を開設。育児に関する悩み相談・情報の提供、職場の様子や制度に関する最新情報発信などで子育てを応援します。

**KIDS na LINE** ~キズナライン~

#### 情報発信

- 子育てに関する情報
- 育児関連制度の紹介
- 健祥会グループの情報発信
- 育児相談室
- トーク機能を利用して、個別育児相談の受付



## 去年より今年、レベルアップを実感! 「2017年度年間取り組み発表会決勝大会」

グループ内高齢者施設49施設は、サービス力の向上を図るために、年間テーマに沿って計画的な取り組みを実践しています。2017年度のテーマは「5つのゼロと4つの自立支援」。1年の取り組みの成果を検証するとともに、介護の楽しさ、やりがい、誇りを職員みんなで共有し、現場の士気と意欲を高めるために、毎年「年間取組発表会」が行われています。

5会場での予選会で選ばれた8施設が挑んだ決勝大会。健祥会トモモロホールで、実演を交えたり、映像や音楽、小道具を効果的に使いながら、20分の持ち時間をフルに使って、1年間頑張ってきた取り組み内容とその成果を、施設職員、本部署職員ら約300名の聴衆にプレゼンテーションしました。

回を重ねるごとに、内容にもプレゼンテーションの方法にもレベルアップが感じられ、いずれも見応え聞き応えたっぷり。応援にも熱が入り、ホールは

大盛り上がりで、楽しい熱気にあふれました。「どの施設の発表も素晴らしく、昨年からのレベルアップを感じました。1年を通して頑張り、発表というかたちにする中で、サービスの質の向上だけでなく、一人ひとりの技術とところ、施設のコミュニケーション力やチーム力も格段にアップしているはずですよ。取り組みの一つひとつの積み重ねが明日を支えてくれます。どうか皆さんの力を結集して、利用者様の心に響くサービスをつくっていただきたい」と理事長中村太一が講評しました。

2018年度のテーマは、介護の世界でも、ICT、AI、ビッグデータの活用などが課題となっている中、「5つのゼロと4つの自立支援」データ分析から利用者様の笑顔に〜。2019年1月から予選、3月12日に決勝大会が行われます。



おめでとう!!

優勝

老人保健施設 健祥会ハート  
「従来型老健発「グループケア」」

2位

特別養護老人ホーム 緑風会イサベル  
「24時間シートの活用～生涯安心を目指して～」

3位

介護老人福祉施設 ふるさと那賀  
「笑顔と食から認知症ケアの取り組み」

## 「健祥会のサービスはいいね!」と いつもいつまでも喜んでいただくために

～ サービスの質の追求は私たちの大切な行動指針 ～

生活の質を大きく左右する毎日の食事。利用者様それぞれの身体状態に応じて、必要な栄養がちゃんと摂れることはもちろん美味しく食べて生きる喜びを感じていただけるよう、健祥会グループでは「食」をとても大切にしています。

グループを横断して組織される給食部会には管理栄養士や調理員が参加。情報収集や実践報告、意見交換を行い、「食」の質の向上をめざして活動しています。

その一環として行われる料理コンテスト。2018年度は、褥瘡予防料理、骨折予防料理、ちらし寿司(統一献立)、中華料理(統一献立)の4つのテーマで健祥会プレゼンテーションにおいて開催されました。理事長が審査員長、本部長中村晃子らが審査員を務め、栄養学が専門の専門学校健祥会学園校長武田英一がアドバイザーとして、全施設が持ち寄った創意工夫の料理を審査しました。

褥瘡予防料理は、たんぱく質や亜鉛、鉄を、骨折予防料理にはカルシウムやビタミンを意識して食材を選び、献立が立てられています。ただ栄養価が高いだけでなく、美味しく食べていただけるように見た目や食感も大切に。参加者もそれぞれに他施設の料理を試食し、熱心に話を聞いたり、アドバイスを合ったりしていました。

こうした取り組みもグループのスケールメリットの一つ。競い合い、情報交換し合いながら、利用者様の喜びと身体機能の維持向上につながるよう、食事の質をさらに極めてまいります。



2018 11/20(火)

## 「食」の機能と創意工夫を競い合う 全施設参加の料理コンテスト開催

## 2018年 地域活動報告

健祥会グループでは14のステージで施設が連携・協働し、地域福祉の充実・発展のために様々な地域活動を行っています。



# 支え合いつながり合う あたたかな地域でありますように

2018 2/14(水)

認知症になっても安心して暮らせる地域づくりをめざして、認知症への理解促進を図るため、2014年より「認知症サポーター養成講座を施設内外で実施。徳島県内における健祥会主催の講座で、2017年度中に1万人」の目標を、2018年2月14日に達成しました(12月末累計1万2,503人)。また、職員が講師として様々な場に赴いてサポーター養成に努めており、2018年末には講師派遣の講座で累計5,054人を養成しています。



**支え合いの輪、安心の輪、地域に広がれ！  
認知症サポーター養成、1万人の目標達成！**

2018 1/30(火)

1万人達成まであと128人に迫った2018年1月30日、2016年10月～2017年9月までの間の実績に対し、講師として多くのサポーターを養成した「優秀キャラバン・メイト」表彰が行われ、健祥会グループでは17名が新たに「ブロンズキャラバン・メイト」として飯泉嘉門知事からの表彰を受けました。また、グループの徳島県内のすべての事業所は、一定人数のサポーターを擁する「認知症サポーター養成協力事業所」に認定登録されています。つながり合い、支え合う安心の地域づくりをめざして、健祥会グループでは、今後もできるだけ講座開催の機会を設けて認知症への理解促進に努めるとともに、数多くの介護現場のデータに最先端の知見をプラスして、質の高い認知症介護サービスをつくりあげてまいります。地域の皆様のますますのご協力をお願い申し上げます。



**17名が新たに「ブロンズキャラバン・メイト」に**



2018 3/24(土)・25(日)



## 徳島の春を彩る とくしまマラソン2018



徳島の春の風物詩ともなったとくしまマラソン。第11回を迎えた2018大会は、46都道府県と海外13カ国から1万4,200人がエントリーして開催されました。

健康会グループは今年も、職員の有志がボランティアとして出動。前日の徳島中央公園の「ファンラン」ではスポンサー企業提供のパン、バナナ、スポーツドリンクのサービスを、当日は、17キロメートル付近六条大橋北詰の第4給水所での塩と水、スポーツドリンクのサービスを担当しました。

好天に恵まれた両日。ファンランには26名、第4給水所には92名の職員ボランティアが参加し、「おもてなし」の大会との名に恥じぬよう、笑顔でサービスし、精一杯の声援を贈りました。

地域への感謝の気持ちと、徳島を盛り上げたいとの思いで、サポートをはじめ今年で3回目。毎回、職員たちはランナーの皆さんから感動をいただいています。ランナーの皆様、いっしょに沿道で応援してください。地域の皆様、大会関係者の皆様、ありがとうございました。

2018 7/7(土)



## 暑さをふきとばそう！ 夏まつり・納涼祭43カ所で開催



厳しい暑さの夏でしたが、利用者様やご参加くださる地域の皆様の負担にならないよう、内容や時間帯に配慮しつつ、恒例の夏まつり・納涼祭を開催しました。7月7日～9月1日まで、2ヶ月にわたって徳島、香川、高知、大阪、京都、東京、43カ所で、それぞれの施設らしさいっぱいのもつりが繰り広げられました。利用者様や園児たちはもちろん、家族様や地域の方々にも大勢ご参加いただき、夏の宵のひとつをともに楽しむことができました。

開催にあたっては、地域のボランティアの皆様、こども園・保育園の保護者の皆様、地域の高校生・大学生の皆様、そして、専門学校健康会学園の学生の皆様など、様々な方々にお手伝いいただいています。心より御礼申し上げます。



2018 7/28(土)



「介護・医療・保育 相談センター by KENSHOKAI」  
年中無休/9:30~20:00

🏠

あなたの暮らしのすぐそばで！  
「介護・医療・保育相談フェア」

徳島市のショッピングプラザタクトにある健祥会グループのアンテナショップ「介護・医療・保育相談センター by KENSHOKAI」では今年3回、「介護・医療・保育相談フェア」を開催しました。

ケアマネジャー・医療クラーク・保育士・歯科衛生士ら、専門職がご相談をお受けする「相談コーナー」。骨密度測定・体組成測定・血圧測定などができる「健康測定コーナー」。福祉用具の体験コーナーにはトレーニングマシン・ボディスパイダーや会話型ロボット「バルロ」も登場。買い物に訪れたご家族連れの皆さんがたくさんお越しください、思い思いに用具を体験したり、専門職の話に聞き入ったりしてくださいました。お子さんには「バルロ」が好評。また、ふだん目にする機会の少ない自助具への関心も高いようでした。

「いつかはきっと必要になる介護だけれど、身の回りには何も情報がないので、こうした機会、こうした場があるのはとてもいいと思います」とのお声。あなたの暮らしのすぐそばに私たちはいます。頼りにしてくださいね。

2018 7/31(火)



🏠

歴史に感謝、人に感謝  
健祥会グループ「感謝の日」

「施設はすべて、様々な人々の汗と善意に助けられて誕生し、たくさんの人に支えられて今がある。井戸を掘った人の労苦を決して忘れてはならない」と常に説いていた健祥会グループ創始者中村博彦。グループでは、創始者の想い・教えを胸に刻み未来へつなぐために、その命日、7月31日を「感謝の日」と定めています。

今年も7月31日、各施設で歴史を振り返り、開設・運営に尽力くださった方々、施設をお選びくださっている利用者様やご家族、ご協力いただいている地域の皆様、そしてともに働く仲間への感謝の気持ちを新たに、「ありがとう」の言葉を添えて「感謝」の行事が催されました。地域交流カフェや食事会の開催、献血、礼所でのお接待、地域の清掃、空き缶拾い、こども園・保育園での相撲大会や高齢者との交流など。目新しいところでは出前写真館で利用者様を撮影したり。感謝の日の行事食も全施設で響されました。施設ごとに感謝を込めて過ごした一日でした。

2018 9/1(土)



## 防災の日、想定外をなくすために 迫真の訓練実施



防災の日の9月1日、南海トラフ巨大地震と中央構造線・活断層地震を想定して、徳島県総合防災訓練が池田支援学校美馬分校で行われました。健祥会グループからも、各地各施設の職員が参集し、行政や地域の皆様とともに、福祉避難所開設訓練、災害ボランティアセンター運営訓練に臨みました。訓練では、発災に伴い、美馬分校に福祉避難所が開設され、健祥会にD C A T（災害派遣福祉チーム）の派遣依頼があったと想定。いち早くチームを組織して美馬分校に派遣し、D M A T

（災害派遣医療チーム）と連携して避難所アセスメント・個別アセスメントを行いました。地震や豪雨など、災害が多発し、異常気象にも見舞われ、否が応でも防災意識は高まっています。2016年にはじめて緑風会ルネッサンスで行われて以来、3度めの福祉避難所プログラムでしたが、こうした積み重ねが何より大切であるとの思いで、誰もが真剣に取り組み、手応えや課題を得た訓練でした。

2018 9/10(月)~24(月)



## 元気でご長寿嬉しいね！ 健祥会グループ合同敬老会週間



介護施設や在宅サービスの利用者様も、地域の皆様も、揃ってご長寿をお祝いする健祥会グループ合同敬老会は、39年前、グループ発祥の地・徳島県川島町の特別養護老人ホーム水明荘の開所とともに始まりました。今年、特別養護老人ホーム水明荘での第39回健祥会合同敬老会を皮切りに、9月17日の敬老の日の前後2週間にわたって、全国38ヶ所で開催されました。各会ごとに恒例の長者番付ならぬ長寿番付を作成し、皆様の励みとさせていただきます。

30年前には徳島県に32人だった100歳以上の方は、敬老の日現在547人。70歳でも現役で頑張っておられる方も多く、長寿化がすすんで高齢者像も大きく変化しています。合同敬老会などの会場でもご出席の皆様はお若く、すてきな笑顔でいらっしゃいます。高齢者という既成概念にとられず、いつまでも若く元気な気持ちで、毎日を過ごしてくださいね。

2018 10/27(土)・28(日)

## 🏠 新たな一歩への挑戦を！ 🏠 専門学校 健祥会学園 第23回 学園祭

「徳島健祥会福祉専門学校」から「専門  
学校 健祥会学園」へと校名が変わり、  
はじめての学園祭。新たな一歩への「挑  
戦」を期して「挑戦〜平成最後の…  
〜」をテーマに繰り広げられました。

学生の企画運営によるステージイベン  
ト、学科紹介、アトラクション、模擬店な  
ど盛りだくさんの内容に加え、11月11  
日の介護の日のイベントとして認知  
症カフェも開催。オープンキャンパスも同  
時に催され、たくさんの方々に楽しんで  
いただくことができました。

オープニングは、それぞれ、国府中学  
校吹奏楽部、国府小学校マーチング  
バンド部、地元の小・中学生の皆さ  
んのパフォーマンスで飾っていただき  
ました。



### 〈文化講演会〉

「安心して年を取ることができると  
域づくり〜幸せになるために〜」  
医療法人 ゆうの森

おもてなし室 一井美哉子 室長

最期をどのように生きたいか…ご本人  
やご家族の想いを多職種のチームが全  
力で支えることの大切さを教えていた  
だきました。とても心に響くお話で、  
聴く人の涙を誘いました。

### 〈SUPER LIVE!〉

オープニングアクト：丸山 純奈さん

昨年は「とこまる」として出演してくだ  
さった徳島出身の中学生、丸山純奈さ  
んが、今年はソロで登場。心に響く透き  
通った歌声が会場を包み込みました。

### メインアクト：wacci

ドラマの主題歌やCMなどで人気急上  
昇中のwacciに、開始早々から  
スタンディング！MCも楽しく、会場  
が一体となって大盛り上がりでした。



wacci



丸山 純奈さん

## 開所の想いを忘れず 新しい明日へ

周年のお祝い続々！

健祥会グループのルーツである吉野川市川島町の  
特別養護老人ホーム水明荘の開所から38年。今や  
施設数は66を数えるまでになり、毎年いくつもの  
施設が、5年め、10年め、20年めの開所記念日を迎  
えます。2018年は、3つの施設で20周年、その  
ほか、5つの施設で15、10、5周年を祝いました。

汗と涙の歩みを思い、  
先人に感謝を！

### ■20周年

4月1日 老人保健施設 健祥会シエンブルン

4月1日 特別養護老人ホーム 健祥会ハイジ

7月1日 特別養護老人ホーム 緑風会ルネッサンス

### ■15周年

9月1日 グループホーム 礼あり優あり

10月1日 ケアハウス 健祥会リパティ

### ■10周年

4月1日 こまつしま健祥会認定こども園

### ■5周年

3月1日 特別養護老人ホーム 健祥会ライデン

3月1日 むくの木クリニック



老人保健施設 健祥会シエンブルン



特別養護老人ホーム 健祥会ハイジ

特別養護老人ホーム 緑風会ルネッサンス

20年前といえば、まだ介護  
保険もない措置の時代。高  
齢者施設は山間の地や人里  
離れた地にありましたが、  
「福祉ルネッサンスを興そ  
う」との志のもと、健祥会グ  
ループ創始者中村博彦は、  
地域の皆さんにその存在を  
しっかり知っていただけると  
う、人目につく場所や地域  
の中心となるような場所に  
開所したのです。  
20年の歩みを振り返れば、  
どの施設も、地権者様のご  
理解があつてこそ生まれ、関  
係各位やたくさんの方々の  
皆様からの長きにわたるお  
力添えのおかげで今日があ  
ります。そして、もちろん職  
員たちのたくさんの方々の汗と涙  
があります。  
感謝の気持ちを地域に伝え  
るため、また当時を知らない  
新しい職員に誕生の経緯と  
感謝を語り継ぐために、そ  
して創始者を想いながら、  
私たちは周年を祝ってい  
ます。皆様、ありがとうございます  
です！！



スポーツが  
笑顔と元気を連れてくる!  
地域に! みんなに!

## 健祥会カップ争奪 第37回 徳島オープン ゲートボール選手権大会

土成緑の丘スポーツ公園(阿波市土成町)

県内各地、さらに香川県や兵庫県からの合計48チーム・約280名。  
子どもさんから高齢者まで、三世代、四世代集いました。健祥会グループからは  
5チームが参加しました。

優勝 / 小松島Rチーム(徳島県)

「高齢青年チーム賞」 / にこにこチーム(平均年齢83歳:吉野川市)

2018  
5/26  
(土)



2018  
10/13  
(土)

## 健祥会カップ争奪東四国国体記念 第26回 四国オープン ゲートボール選手権大会

ホテルと文化の里運動場(高松市塩江町)

最年少15歳から最高齢98歳まで、48チーム256名の皆様。  
健祥会グループからは、健祥会A,B,C、水明荘レディース、緑風会の  
5チームが参加しました。

優勝 / 健祥会Bチーム(徳島県徳島市)

「高齢青年チーム賞」 / 山茶花チーム(平均年齢88歳:香川県高松市)  
4年連続の受賞



2018  
5/12  
(土)



## 第14回 健祥会杯 グラウンド・ゴルフ大会

徳島市民吉野川北岸運動公園(徳島市応神町)

徳島県グラウンド・ゴルフ協会主催、社会福祉法人健祥会協賛。過ごしやすい初夏の気候のもと、総勢83チーム、724名の皆様が参加。笑顔の花がグラウンドに咲いた一日でした。



## 第14回 健祥会ふれあい大会

JAあいさい緑地(小松島市和田島町)

小松島市グラウンド・ゴルフ協会所属のグラウンド・ゴルファー136名の皆さんが思い思いに、プレイを楽しみました。健祥会からも12名の職員が参加しました。



2018  
6/2  
(土)

2018  
11/11  
(日)



## 第13回 健祥会グループ杯 南太平洋グラウンド・ゴルフ大会

那賀川河川敷緑地公園(阿南市羽ノ浦町明見)

阿南市・海部郡・鷲敷のグラウンド・ゴルフ協会から、48チーム、415名の愛好家の皆様が参加。すがすがしい、秋の1日を楽しみました。



## 第15回 健祥会カップバレーボール大会

健祥会パートナー(徳島市国府町)

子どもたちの健全育成の一助になることを願ってスタートした健祥会カップバレーボール大会。合計42の小学生チームが集い、フェアプレイで素晴らしい競い合いを見せてくれました。

2018  
5/26-27  
(土・日)



健祥会グループ

# フォトコンテスト 2018

KENSHOKAI GROUP PHOTO CONTEST 2018

## 結果発表!

募集テーマ

元気



理事長賞

武田 美香さん

ケアハウス 鳩の家

「私がつくったんでよ」  
〜初夏の収穫祭〜



本部長賞

ケアハウス 健祥会リブレ

香川 雄基さん

「夫婦の絆が元気の源」





ケアハウス 健祥会アムス

森東 美幸さん

副本部長賞

「ちょっとそこまで歩こう会」



総務部長賞

グループホーム 笑顔毎日  
坂東 有彩さん

「福よ、来い」



特別賞

としま健祥会保育園

武市 花佳さん

「VIVA☆はっぴふぶき」



特別審査員賞

健祥会シェンブルン

竹内 大介さん

「元気王者決定戦」



入賞 15作品



柚子で元気

あめこの里 猪本 勝代さん



笑顔満開

マリア・テレジア 上笹 正樹さん



食べや

緑風会イサベル 成田 小百合さん



「うわっ、びっくりしたあ〜」

青嵐認定こども園 林 悠華子さん



うまいなー3枚目

水明荘 今出 実花奈さん



あめあめふれふれ、もっとふれ!

こまつま健祥会認定こども園 國廣 緑さん



かき氷「冷たい!」ほっぺ「あったかい!」

緑風荘 イルファンムアフィフさん



このすばさが元気

ふるさと那賀 芳川 唯佳さん



てんまでどどげ

こまつま健祥会認定こども園 西良 駿さん



生涯現役プレイヤー

緑風会ヘルス 眞田 仁雄さん



笑いヨガ

健祥会たんぽぽ 日下 憲一さん



Happyワークいつもありがとうございます!

健祥会エジンバラ 久米川 雅信さん



85歳になりました

元気 日野 明美さん



ぶらさがり名人

としま健祥会保育園 川崎 和代さん



今日も元気に

健祥会ヘルス 石川 敏司さん

# 世界を観よう! 仲間と楽しもう! 2018-2020 職員親睦研修旅行

## [国内]

北海道、長崎、沖縄本島、沖縄離島  
東京(東京オリンピック、東京ディズニーランド)  
大阪・兵庫(エキスポシティ、USJ、吉本新喜劇、宝塚歌劇団観劇)  
ホテルでテーブルマナー、徳島観光地めぐり、四国八十八カ所巡り

## [海外]

カナダ、イタリア、ドバイ、ハワイ、韓国、台湾



イタリア



台湾



ハワイ



カナダ



沖縄

# 職員募集中!

あなたを待ってる人がいる  
あなたが輝く場所がある

## 笑顔と「ありがとう」の行き交う職場で 私たちといっしょに働きませんか?

誰かのためになる喜びとやりがいに満ちた福祉の仕事にチャレンジしてみませんか?  
資格がなくても大丈夫。研修制度でキャリアアップを応援します! 福利厚生も充実。  
徳島県のはぐみ支援企業認証を受けており、仕事と子育ての両立を力強く支援しています。

介護しながら、子育てしながら、勤められます!

**正規職員・パート** 勤務地・勤務時間・給与応談!

■募集職種 介護職員・理学療法士・作業療法士・看護師・管理栄養士・  
栄養士・調理員・訪問介護員 ほか

ご興味のある方は下記または各施設までお気軽にお問合せください。

健祥会グループ本部 集え人財室 TEL.088-642-7522



明日を想う  
健祥会グループ

健祥会グループ本部

〒779-3105 徳島市国府町東高輪字天満356番地1 TEL.088-642-8118 FAX.088-642-8668